

行程表

2025 9/25 木 14:00~20:00 受付 13:30~
15分前までにお集まりください

14:00 出発 JR姫路駅

14:30 但陽信用金庫 (兵庫県加古川市)

~17:30

基調講演

「信金らしい人にやさしい経営」

但陽信用金庫 理事長 桑田 純一郎 氏

■ 参加者同士による意見交換会

18:00 懇親会 天空レストラン「きこう×龍力」

姫路市本町68-290イーグレひめじ4F JR姫路駅より徒歩7分

20:00 現地解散

船井総合研究所の
コンサルタントによる
「視察先ポイント解説」
「本日のまとめ」講座を
視察内で行います

2025 9/26 金 8:00~16:00 受付 7:30~
15分前までにお集まりください

8:00 出発 JR姫路駅

9:15 史跡生野銀山 (兵庫県朝来市生野町)

~11:00

追上ゴルフ場 (但陽信用金庫 職員専用 福利厚生施設)

12:15 コープこうべ協同学苑 (兵庫県三木市)

~15:00

■ 昼食 ■ 史料館視察

基調講演

「生協らしい人にやさしいDX」

生活協同組合コープこうべ
情報デジタル推進部 インターネット・デジタル推進 統括 浜地 研一 氏

16:00 解散 JR新神戸駅

参加費用

1日のみ 参加

〈一般価格〉50,000円 [税込 55,000円] 〈会員価格〉40,000円 [税込 44,000円]

2日間 参加

〈一般価格〉60,000円 [税込 66,000円] 〈会員価格〉48,000円 [税込 52,800円]

参加費用に
含まれるもの

1日目夕食、2日目昼食および施設見学の代金

参加費用に
含まれないもの

集合場所までの往復交通費、宿泊費

第56回 しんきん経営研究会 9月バス視察ツアー

・ 2025年国際協同組合理年 ・

協同組合らしい信用金庫

地域に土着し、人を育む、不易流行の経営哲学
人口減少時代の信用金庫経営を原点から見直す

日時 9月25日(木) 9月26日(金)
14:00 - 20:00 8:00 - 16:00 場所 1日目 2日目
集合場所 JR姫路駅 解散場所 JR新神戸駅 定員 40名

基調講演

「信金らしい
人にやさしい経営」

但陽信用金庫
理事長

桑田 純一郎 氏

- 但陽ボランティアセンター 理事長
- 兵庫県更生保護協会 理事長
- 全国信用金庫社会貢献賞会長賞(令和2年)



「生協らしい
人にやさしいDX」

生活協同組合コープこうべ

情報デジタル推進部
インターネット・デジタル推進
統括

浜地 研一 氏



視察

史跡生野銀山

但陽信用金庫
創業の地
“生野”に学ぶ

1200年の歴史と財政
を支えた生野銀山の
歴史、鉱山の科学、地
域文化を学びます



コープこうべ協同学苑

賀川豊彦の
思想と活動
“生協の父”に学ぶ

協同組合運動の原点
に触れ、共助の精神
や社会貢献の意義を
学びます



主催



株式会社船井総合研究所
しんきん経営研究会

内容に関するお問い合わせ | シンタニマサシ | 新谷 正志

申込みに関するお問い合わせ | ゼハラ エリコ | 千原 英里子

E-mail | shinkin@funaisoken.co.jp TEL | 03-4223-3166 (平日9:30~17:30)

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

当社ホームページからお申込みいただけます。

〈船井総研ホームページ〉

<https://www.funaisoken.co.jp>

(右上検索窓に「お問い合わせNo.」をご入力下さい)

お問い合わせNo: S132851



2025年世界協同組合年に考える 協同組合らしい信用金庫

但陽信用金庫

～地域と人は時間をかけて育てる“山林経営”に学ぶ～

兵庫県加古川市に本店を構える但陽信用金庫は、1926(大正15)年に創業し、2026年6月に100周年を迎えます。3代目理事長の桑田純一郎氏は、1990年に理事長に就任して以来、**預金量は5.4倍、融資量は2.4倍**に増加させ、**令和6年6月に預金高は1兆円を突破**しました。

桑田理事長は経営の基本を「山林経営」とし、山林を育てるように地域や人は時間をかけてゆっくり育てていくことを信条としています。特に**ボランティア活動**を通じた“**人材育成論**”については、地域と運命を共にする信用金庫だからこそ参考になりたい本質的な考え方の一つです。“但陽流”の**長期的視点に立った地域支援や人材育成の取り組み**から、信用金庫の存在価値について一緒に考えてみませんか。

集まる預金

「集まる預金」のベースは、**学費などの口座振替指定**にあり、地元の東播磨地区のシェアは90%以上になります。子供が卒業して就職した際は給振り口座の新規開設に繋げています。流動性預金比率は約69%(7位/245金庫中)。店外ATMは70カ所設置し、ATM手数料は時間外・休日を含め**365日無料**。その利便性の高から、地域からの圧倒的な支持を集めています。

採用説明会

採用説明会では、桑田理事長自らが登壇に立ちます。学生課の間では「**伝説の説明会**」と呼ばれるほど有名で、「就活生であれば一度は聞いておきたい講演」として広く認知されています。毎年、満席となる講演会場は、人間愛をベースにした桑田理事長による熱い講演で熱気に包まれます。

ボランティア

ボランティア活動は30年前(1995年)の震災から継続しています。
①**移送サービス**(介護車両6台所有し、社会的弱者に対し、病院、買い物等への移送を行います。“毎日10名”の職員が稼働しています。
②**ベルボックス**(独居老人の安否確認、ボタン1つで話を聞きます)
※令和2年5月、信用金庫社会貢献賞で「会長賞」を受賞

但陽信用金庫を知るための5つのキーワード

創業の地

創業以来の物故役職員への感謝を忘れないため、あらゆる会議は、創業の地である“生野”で開催されます。**慰霊碑参拝(年4回)**:年賀交換会(1月)、決算後(4月)、仮決算後(10月)、創業記念日(6月10日)。
目に見えないものへの畏怖の念を持つため、**全職員が神社参拝(毎月1日)**をして、地元の神社で神仏のご加護を祈願しています。

社員は家族

徹底した家族型経営は、様々な福利厚生制度からも伺い知れます。
全寮制(独身男性職員)、**誕生会**(独身男性職員)、**誕生祝い**(女性職員)、**妻帯者クリスマスパーティー、ファミリーキャンプ、社員運動会**(毎年開催)、**ヘルプライン制度**(理事長窓口)、**職員相談室**(悩み相談)、**福利厚生施設**(職員専用オートキャンプ場・職員専用ゴルフ場)などが特徴的です。

但陽信用金庫

～創業の地“生野”に学ぶ～

但陽信用金庫を知る上で、訪れておきたい場所の一つは創業の地“生野”です。常に創業時代、原点にもどることで、最も大切なものが何かを再確認できる。最も大切なものは社員であり、但陽信用金庫は社員全員がファミリー(家族)なのです。但陽流の“原点回帰”の発想に学び、生野に息づく悠久の歴史と共に、協同組合の原点についてもう一緒に考えてみませんか。

Silver Mine

史跡生野銀山

生野銀山は、1542(天文11)年に本格的な採掘が始まり、戦国時代から江戸時代にかけて幕府の直轄鉱山として発展しました。

幕府の直轄鉱山として栄え、明治維新を巡る「**生野の変**」の舞台となった場所としても知られています。

日本の財政を支えた生野銀山の歴史や、明治維新へとつながる事変などから、現代を生きる我々に託されたものについて考えます。

Golf Course

追上ゴルフ場

但陽信用金庫は、職員専用のゴルフ場を保有しています。いつでも自由に使えるこのゴルフ場は、職員対象のコンペ、寮生コンペなどでも利用されています。ゴルフ場の近くには、「**職員専用オートキャンプ場**」もあり、コンペの後には参加者同士でバーベキューを楽しむことができます。ゴルフ場の視察を通じて、生野の自然と、但陽流の職員交流のあり方を体感していただけます。

Art Gallery

但陽美術館

但陽美術館は、郷土作家の作品のほか、ロダンをはじめとする中世～近代の彫刻家の作品が展示されています。年賀式、新人研修、創業記念日の会議などでも使用できる大ホールも完備されています。

但陽美術館のほか、**宿泊棟、独身寮、生野小学校**など、但陽信用金庫にゆかりのある場所をバスで巡りながら、地域の歴史や文化の継承について考えます。

・ 2025年国際協同組合年 ・

国際協同組合年とは、国際連合(国連)が指定した国際年の一つです。協同組合が社会や経済の発展において果たす重要な役割に光を当て、その認知を高めることを目的としています。

協同組合は、農業協同組合(農協)、生活協同組合(生協)、労働者協同組合、協同組織金融機関など、さまざまな形で存在し、人々の暮らしのあらゆる側面に深く関わっています。持続可能な開発目標(SDGs)の実現にも貢献する事業体として、国連は協同組合の重要性を高く評価しています。

2012年に続いて、2025年も「国際協同組合年」と定められました。この年は、協同組合の価値と役割を再認識し、協同組合同士の連携を深め、より良い世界を築くために協同組合がどのように貢献できるかを考える貴重な機会とされています。



豆知識

協同組合の父 賀川 豊彦 ってどんな人？

賀川豊彦(1888-1960)は、キリスト教の隣人愛に基づき、貧困問題の解決に生涯を捧げた社会運動家です。神戸のスラム街で貧しい人々と共に生活し、その救済活動に尽力しました。

労働者の地位向上を目指し、日本初の労働組合を結成したほか、農民運動、協同組合運動に献身し、関東大震災が発生するや、東京にて、罹災者救済やセメント事業に力を尽くしました。

生活必需品を共同で購入する生活協同組合(生協)運動の創始者であり、**コープこうべ**(神戸購買組合・瀬戸購買組合)、**中ノ郷信用組合**(東京都墨田区)の創設者でもあります。

また、日本初のベストセラー作家の一人とされ、自伝的小説「死線を越えて」は、1920年に出版されると、社会現象となるほどの大ヒットを記録しました。著書数は600冊以上とも言われ、書籍から得られる印税は、活動を支える大切な資金となりました。

賀川の活動は国内にとどまらず、国際的にも高く評価され、ノーベル平和賞に4度、ノーベル文学賞に2度推薦されています。



協同組合はイギリスのロッチデールが発祥の地です。視察先の「コープこうべ協同学苑史料館」は、その「ロッチデール公正開拓者組合」記念館をイメージしてレンガ造りで建てられました。



企業理念(社訓)

正義

私どもは、社会正義、社会道徳を全ての行動の基本とします。

革新

私どもは、常に現状に甘んじることなく、時代を先取りします。

人間愛

私どもは、ヒューマニズムを基本とし、人にやさしく、未来いとおつきあいを目指します。

但陽信用金庫の概要 (2025年3月末現在)

創 業	1926(大正15)年6月10日
本店所在地	兵庫県加古川市加古川町溝之口772番地
会 員 数	32,775名
出 資 金	10億68百万円
預 金	1兆108億円
貸 出 金	3,664億円
店 舗 数	34店舗、70出張所
常勤約職員数	612名